

法文学部平成 29 年度学長戦略経費

「愛媛大学における地域調査のためのフィールドワーク体制の確立」

愛媛大学においては、多様な分野においてフィールドワークに基づく研究成果を生み出してきました。各学部の正課科目としても、学外をフィールドとした演習科目が実施されており、毎年多数の学生が参加し地域の諸課題の解決に向けた現地調査を継続しています。地域に根ざした大学としての真価を発揮するために、今後ますますフィールドワークによる活動を増やすことが求められています。この講演会では、各分野で活躍されている研究者をお招きして、これまで培ってきた豊富な経験からフィールドワークの魅力をお話させていただきます。

日時：2018年2月19日（月）午後2時～午後5時

場所：法文学部本館大会議室（8階）

入場無料・申込み不要

講演①：人間と野生動物の関係を研究する魅力

橋本 操（愛知工業大学）

講演②：狩猟採集民と野生動物問題

田口 洋美（東北芸術工科大学）

【講師紹介】

橋本 操 Hashimoto, Misao

愛知工業大学地域防災研究センター・PD 研究員

専門：地理学, GIS

筑波大学大学院博士後期課程修了。人と野生動物との関係についてクマやシカ等の大型野生動物を中心に地理学から研究を行っている。地理学の基礎的なフィールドワークや GIS の他、野生動物の歯による年齢査定、胃内容分析、解体技術など他分野の分析方法を取り入れた独自の研究スタイルを確立している。

お問い合わせ先

愛媛大学法文学部 兼子 純研究室(地理学)

〒790-8577 松山市文京町3番

Tel/Fax: 089-927-9352

Email: kaneko.jun.iu★ehime-u.ac.jp



田口 洋美 Taguchi, Hiromi

東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科・教授

専門：環境学／民俗学／文化人類学

映画製作スタッフから狩猟文化の研究者へと転身。民族文化映像研究所、日本観光文化研究所主任研究員を経て1996年に狩猟文化研究所を設立、同代表。1990年マタギサミットを発起、主宰を務める。山と人と動物を知る異色のフィールドワーカー。
(<http://blog.tuad.ac.jp/tobunken/> より)

愛媛大学法文学部 笹田朋孝研究室(考古学)

〒790-8577 松山市文京町3番

Tel/Fax: 089-927-8392

Email: sasada.tomotaka.me★ehime-u.ac.jp

野外フィールド研究の魅力